

笠松町地域公共交通会議 議事概要

日時	令和7年7月28日(月) 14:00~15:00
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	古田会長 山田(健)委員 宮部委員 長尾委員(委任者) 中島委員(委任者) 山田(忠)委員 松原委員 森委員 家田委員 大石委員 正村委員 児玉委員 瀧瀨委員 野田委員(委任者) 村井委員 田島委員 (以上16名)
新規委嘱	笠松町町内会連合会 森 社委員・岐阜運輸支局 大石 悟委員・岐阜県公共交通課 大脇 哲也委員
欠席の委員	なし
議事概要	

① 町長あいさつ

今年4月からダイヤ改正と運転業務の委託先を変更したことにより、運行体制が一新された笠松町公共施設巡回町民バスだが、9月末に自家有償旅客運送者登録の有効期限が満期を迎えるため、更新したく協議を諮りたい。また、新ダイヤの一部ルートの変更や時刻表の変更を行っている、このような利便性、安全性の向上に向けた修正は今後も適宜行っていきたいと考えているので、委員の皆さまには忌憚のないご意見を賜りたい。

② 議事

【第1号議案】笠松町公共施設巡回町民バスに係る自家有償旅客運送者(道路運送法第79条)登録の有効期間満了に伴う登録更新について

○【資料1】にて、以下の内容について説明。

笠松町の交通網と公共施設巡回町民バス(以下、バス)の位置づけ、バスの沿革と4月のダイヤ改正による変更点の紹介と、近年のバス利用状況とダイヤ改正前後の各停留所利用者数比較から、ダイヤ改正による顕著な利用者減は起こっておらず、依然利用者は同じ割合でいることから、バスの需要は今後もあるとして、更新の必要性を説明した。

【質問・意見】

○岐阜運輸支局 大石委員より

1点注意事項として、笠松町公共施設巡回町民バスは令和5年の12月に人身事故を起こしており、いつもは3年の更新期間だが、今回は2年の期間となることを改めてご承知いただきたい。

○町内会連合会長 山田委員より

4月に安全な安定した運行と運転手の確保のためとして新ダイヤへ改正を行ったが、その後その目標は達成されたのか。

→ 安定した運行は、この後説明するが、平日朝の早朝便のみ遅延が発生しており、その修正のため部分的なダイヤ改正を行うが、その他の時間帯では遅延もなく順調に運行出来ており、概ね目標を達成できているといえる。運転手の確保については、現状予定人数より多くの応募があり、運転手の応募は打ち切っている状態で目標は達成しているといえる。

③ 【報告事項(資料2)】

1. 早朝便の運行時間見直しについて報告【別紙1、2】

平日朝6時台のみ運行する早朝便の遅れが、全体的な運行の遅れに結びついていることを説明し、その解決策として、早朝便のみ運行時間を5分早めることを報告した。周知期間も考え、9月より新しい運行時間で運行を開始する。

2. 笠松町公共施設巡回町民バスの一部ルート変更について【別紙3、4】

松波総合病院付近のルートがバスと一般車がすれ違えないほど狭く、また歩行者も多いため、安全のため7月より新しいルートにて運行していることを報告した。

3. 遠隔点呼の実施について【別紙5】

基本的には対面点呼を行っているが、点呼人員がやむを得ない事情がある場合に限り、遠隔での点呼にて対応を行っていることを報告した。使用機器の説明を行い、対面点呼と同等の点呼ができていることを確認した。

4. 笠松町公共交通アンケートの実施について

令和5年に策定した笠松町地域公共交通計画の中間年度として、計画の修正に伴い公共交通アンケートを実施することを報告した。アンケートは15問程度、公共交通の利用頻度やダイヤ改正に対するの考えなどを質問する予定。

【質問・意見】

○笠松町長 古田会長より

早朝便の時間見直しについては、周知漏れのないように、今からでも周知を行ってほしい。

○岐阜運輸支局 大石委員より

遠隔点呼は自家用有償旅客運送者に対しては厳格な規定は設けていないが、どのような場合において実施されるのか教えてください。

→ 笠松町内に営業所を設置しているが、人員の関係上、必ずしも運行管理者が常駐できるとは限らないのが現状、その場合、やむを得ず遠隔点呼を使用している。(長尾委員回答…運転管理業務受託事業者)

④ その他：チョイソコカラタンの現状報告

○ [資料3] にて、以下の内容について説明。

チョイソコカラタンは月毎に登録者数は増加しているが、利用回数と利用者数が横ばいになっている。昨年10月よりチョイソコかわしまに乗り換えできるようになったことなど、これからも継続してPR活動を行っていく。

【質問・意見】

○笠松町長 古田会長より

子育て世代、学生、高齢者など幅広い世代をターゲットにPRしてほしい。特にお年寄り登録がめんどくさいという声を聞く。スマホ教室などを活用し、受講者へ登録方法や配車方法などを教えることで、少しずつ登録者を増やして欲しい。